



DFBコーチによるサッカークリニック



大舞台で結果を残してきたドイツサッカー：

ヨーロッパや南米の強豪国が参加する国際大会で、ドイツはこれまで多くの結果を残してきました。ワールドカップの通算成績はブラジルについて2位（優勝3回、準優勝4回、3位4回）。また、ワールドカップよりも質が高いと言われるEURO（ヨーロッパ選手権）では、通産成績で堂々の1位を記録しています（優勝3回、準優勝3回、3位1回）。

日本サッカーとドイツサッカーのつながり：

外国人として始めて日本代表のコーチを務めたのは、「日本サッカーの父」として知られるドイツ人のデットマール・クラマー氏です。彼は当時の日本代表にプロの芽を植えつけ、その後のJリーグの土台作りに大きく貢献しました。ドイツは選手育成だけでなく、指導者育成の分野でも高い評価を受けています。長期、短期における分析能力、計画性に優れたドイツサッカーは、規律やチームワークを重んじる日本サッカーのよいお手本となりえるでしょう。

経験豊かなDFBコーチによる最先端の戦術クリニック：

DFB（ドイツサッカー協会）公認ライセンスを所持する現場経験豊かなコーチにより行われるクリニックは、戦術に重点が置かれ、約2時間を1セッションとして行われます。グラウンドでのプラクシスの他にも、室内で戦術ボードなどを用いた戦術講義を行うことも可能です。選手だけでなく、指導者の方々を対象に行うことも可能です。

プラクシス + 戦術講義



<日本サッカーの父、クラマー氏>



<指導者を対象にしたクリニック>

戦術とは？

目的を達成するための計画、手段、方法。

サッカーにおける一番の目的とは？

- ① 攻撃における最大の目的 - 得点する
- ② 守備における最大の目的 - 失点を防ぐ



戦術カテゴリー：

- ① 個人戦術（1選手の行動）
- ② グループ戦術（2人から5，6人が関係する行動）
- ③ チーム戦術（チーム全体もしくはチームの大部分が関係する行動）
- ④ 特別戦術（セットプレーや対戦相手、試合状況、天候などによって使い分けられる戦術）

クリニックのテーマ例：

<守備>

- ・ 様々な状況における1対1
- ・ 4バックの連携、4バックと中盤との連携
- ・ 中盤でのプレッシング（敵の追い込み方、ボール際で数的優位を作りボールを奪う）
- ・ フォアチェック（敵の追い込み方、仕掛けるタイミング）
- ・ 数的優位、同位、不利の状況における守備の仕方

<攻撃>

- ・ ゴール前での1対1、2対2
- ・ ゲームスピードを高めるためのパスの受け方
- ・ 陣形の整った相手の守備を崩しチャンスを作り出す
- ・ 陣形の整っていない相手に対する攻撃
- ・ セットプレー（コーナーキック、フリーキック）

<1日クリニック例>

セッション1：4バックの基本
4バックと中盤の連携
(戦術講義)

セッション2：カウンター
CKからのカウンター

<2日クリニック例>

セッション1：4バックの基本
4バックと中盤の連携
(戦術講義)

セッション2：中盤でのプレッシング

セッション3：カウンター
(戦術講義)

セッション4：攻撃バリエーション

クリニック担当コーチ

氏名	Carlo Curcio (カルロ・クルーチオ)
生年月日	1973年2月14日
出身地	デュレン/ドイツ
所属	アレマニア・アーヘンU16監督
ライセンス	ドイツA級(2003年10月取得)



指導歴	
2000年1月～2001年1月	女子FVM(中部ライン地域)選抜
2000年8月～2002年8月	Viktoria Arnoldsweiler (ヴィクトリア・アーノルズヴァイラー)
2001年1月～	DFBトレセンコーチ デュレン地域担当
2002年11月～2003年8月	U-14FVM(中部ライン地域)選抜
2004年8月～2004年10月	GFC Dueren(ドイツ4部リーグ) スカウティング
2005年1月～	Flankonia Broich(ドイツ6部リーグ) 監督
2005年7月～	Fortuna Duesseldorf(ドイツ3部リーグ) スカウティング
2006年7月	ドイツにて静岡県選抜U16スタッフのクリニックを担当。 また、来日時に静岡の高校でクリニックも行った。
2007年7月～2008年6月	アレマニア・アーヘンU16監督



<来日時、静岡で高校生を指導>



<アーヘンのU16>

クリニック通訳&コーディネーター

氏名	土屋慶太
生年月日	1978年12月19日
出身地	静岡県（旧清水市）
ライセンス	ドイツB級（2008年3月取得）



サッカー歴	
小学1年～6年	清水江尻小学校サッカースポーツ少年団 清水FC
中学1年～3年	清水市立第一中学校
高校1年～2年	静岡県立清水東高等学校
大学1年～4年	信州大学教育学部生涯スポーツ課程
2001年7月～2002年6月	1. FCザールブリュッケン（当時ブンデスリーガ2部） サテライトチーム
2002年7月～2003年6月	1. FCライムズバッハ（ドイツ5部）
2003年7月～2004年6月	FCボヘミアンズ・プラハ（チェコリーグ2部）
2004年7月～2006年6月 2005年7月～2006年7月	1. FCライムズバッハ、C級コーチライセンス取得 コーチとしてCユースを指導
2006年7月～ 2008年3月	EGCヴィルゲス（ドイツ4部） B級コーチライセンス取得



<ヴィルゲスでの試合の様子>



<カルロコーチと日本のユースチームを指導>